



～橿原地区モビリティサポートモデル事業～
観光客と住民がストレスなく共存するためのユビキタス環境整備
「今井町ユビキタス計画」

和田 晋平
今井町ユビキタス計画協議会（橿原市企画政策課）

奈良県橿原市に位置する重要伝統的建造物群保存地区（以下、「重伝建地区」という。）「今井町」は、東西 600 メートル、南北 310 メートル、伝統的な町屋が 500 軒以上も残るといふ奇跡の町である。戦国時代末期から一向宗・称念寺を中心に発達した寺内町で、江戸時代には自治権も有し、戸数 1100 軒、人口約 4000 人を擁し「大和の金は今井に七分」といわれるほど栄えた。また、同町には長い江戸時代の各年代の町屋が残っており、建築史上も貴重な学術資料となっている。こうしたことから住民の間で保存を進める気運が高まり、平成 5 年 12 月に重伝建地区の選定を受けた。今井町は、重伝建地区としては全国最大の規模でありながら、今も多くの住民が生活するという生きた博物館であり、最近はとみに観光客が増加してきている。

さて、今井町内の道路については、見通しのきくものは少なく、一度屈折させてあるものがほとんどである。これは外敵の侵入に備えて意図的に造作されたのであるが、見通しがきかない道が周遊にはやさしいものではなく、観光客が道に迷いやすいという弊害もある。また、今井町は、他の重伝建地区のように観光地化されておらず、ほとんどの家に今も住民が生活を営んでいるという側面も有している。このような今井町の特色を踏まえて、今まで観光客を迎えるにあたって、地元住民や観光ボランティアガイドが温めてこられた“もてなしの心”を大事にしなが、今後、よりもっと身近にかつ簡単に、観光客が地域住民やボランティアガイドとコミュニケーションを深めながら、より詳しい情報を入手することができる観光システムの構築に向けて、約 2 ヶ月間（10 月 9 日から 12 月 13 日まで）歩行者の移動支援サービスの提供を行っている。

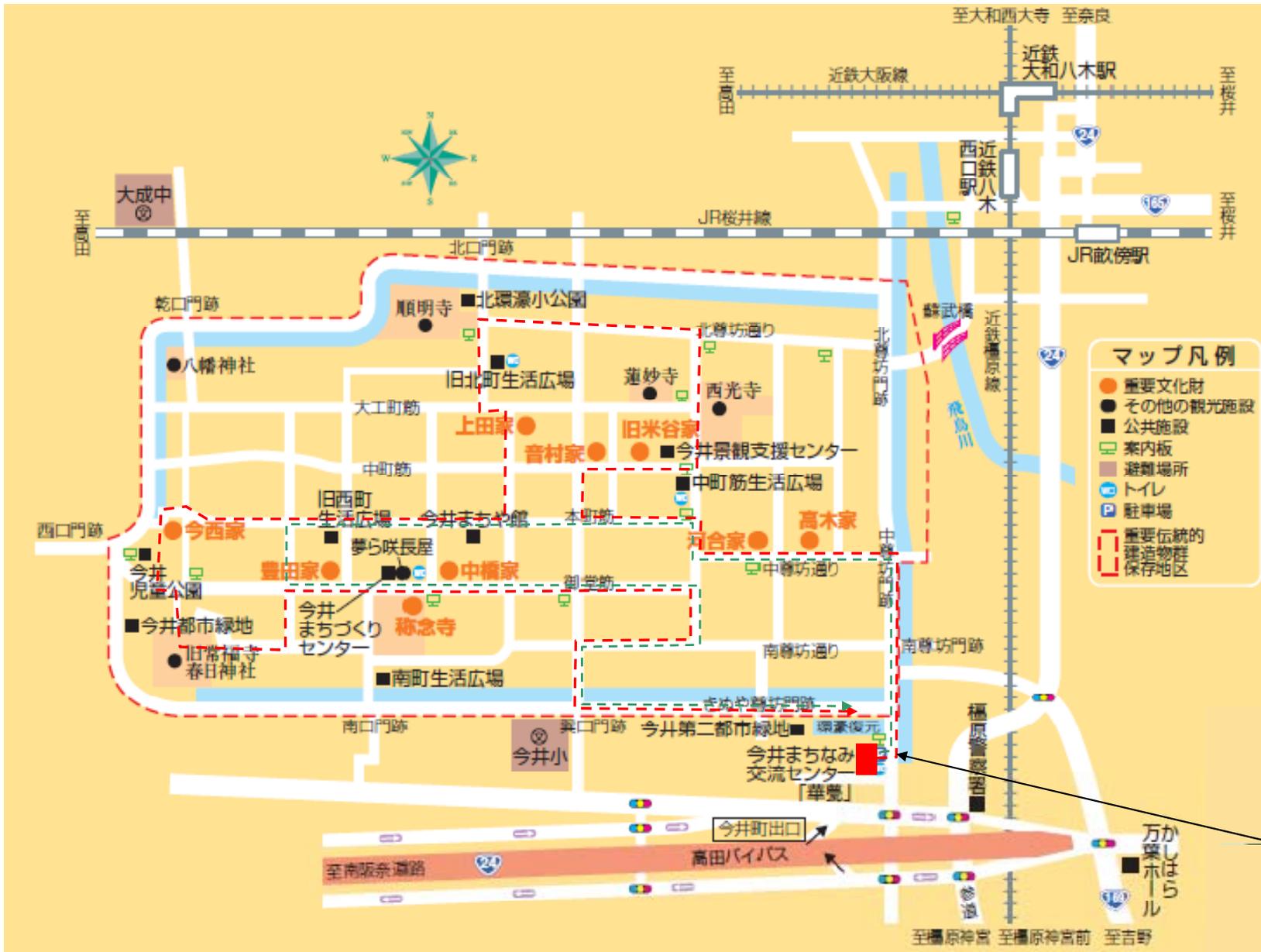
サービスの提供にあたっては、「今井町ユビキタス計画協議会」を設立し、地元住民の皆さんと協働で行うとともに、YRP ユビキタス・ネットワーク研究所とユーシーテクノロジー(株)からユビキタス技術のサポートを得ながら、国土交通省の「モビリティサポートモデル事業」として取り組んでいる。また、平成 20 年度から(財)地域総合整備財団の e-地域資源活用助成事業の助成を受けてユビキタス技術を導入し「飛鳥地方 観光音声ガイド 携帯 Q～あ～案内 あたかちゃん事業」を行っている橿原・高市広域行政事務組合からの助言を得ながら、できるだけ今井町の“生”の声を体験者に届けられるようにと取り組んでいる。

観光システムの構築にあたっては、いつでも、どこでも、誰でも、というユビキタスの概念に基づき、観光客ができるだけ機器の操作をすることが無く、必要な時に必要な情報が入手できるということを第一に取り組んだ。今回のサービスでは、今井町観光の入口ともいべき今井まちなみ交流センターをスタート・ゴールとする 2 つの散策ルートを設定し、同センターにおいて 15 台の携帯専用端末（ユビキタスコミュニケーター・UC）の貸出しを行っている。観光客がルートを選び、歩き始めると自動的に音声と映像によるルートガイドが開始され、各交差点では道順の説明を、各筋を歩いている時にはその道筋の説明を聞くことができ、ルート上にある重要文化財等では動画による説明を見聞きすることができるのである。

このサービス提供を進めるにあたり特に意識したことは、ユビキタス技術が今井町の良さを伝え、住民とのふれあいを生み出すきっかけになることである。現代社会が忘れかけている人と人とのふれあいをこの最先端の技術・UC から生み出せないかということであった。そこで当サービスで提供する情報には、地元住民や観光ボランティアガイドなど実際にそこで生活や活動をしている方に画面に登場していただき、“生”の今井町を伝え、また、画面に登場した人が目の前にいるという状況を作り出し、実際に地元住民との交流が図れるという構図を描いた。

今後は、約2ヶ月間のサービス提供で得られた体験者からの貴重な意見をもとに、ユビキタス技術が持っている性質を活かして地元住民と観光客が良質な距離を保った交流を促進するという新しい観光モデルの構築のための克服すべき課題や問題点の抽出と精査及び将来ビジョンの考察を行う予定である。今井町の持つ、生活空間としての重伝建地区という地域性を活かしながら、同町が観光地として息づくようユビキタス技術を用い、観光だけにとどまらず、生活者にとっても、いつでも、どこでも、誰もが、必要な情報をその場で手軽に得ることができるよう、今後もこの今井町ユビキタス計画に取り組んでいきたいと考えている。

移動支援サービスの提供エリア「今井町」



UC(ユビキタスコミュニケーター)の
トップ画面



移動支援サービスの
体験風景



UCの貸出・返却場所
(今井まちなみ交流センター「華薨」)

散策ルート 重要文化財めぐりルート(長時間コース/約2時間) 町並みめぐりルート(短時間コース/約40分)